資料1－1

令和6年度第3回　総合教育会議　資料

グローバル教育・キャリア教育について

企画部企画課

グローバル教育・キャリア教育について

入間市教育大綱策定の年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度				第1回					第2回 概要説明			第3回 トピック①
令和7年度				第1回 トピック②					第2回 トピック③			第3回 教育大綱案
令和8年度				第1回					第2回 教育大綱説明			第3回

今回の会議では、市長所信表明から「グローバル教育・キャリア教育」について取り上げることとし、意見交換をお願いします。

事例紹介①　グローバル教育　～高知県　香美（かみ）市～

自分事として取り組む英語授業

課題

英語授業に対する意識調査の結果、「英語で自分のことや意見を発表すること」や「授業の理解度」について肯定的な回答が少なかった。

↓

児童が目的を持って自分事として英語を学びたいと思えるよう学習意欲を高めることが重要と考えた。

取り組み

総合学習と英語活動を連携させた

↓

地元大学の留学生に英語で日本食をプレゼンする実践の場を設けた。

効果

授業展開の型「授業スタンダード」を作成し、市内全校に指導案を展開したことで、子どもが自分事として英語を学べるような授業づくりが定着した。

事例紹介②　キャリア教育　～奈良県　生駒（いこま）市～

「学校と社会」「今と未来」を繋ぐキャリア教育

課題

学習指導要領の改訂を受け、主体的な学びや社会に開かれた教育、キャリア教育の推進について必要性を感じていた。

取り組み

外部人材によるキャリア教育等の授業企画に取り組んだ。
学校と社会が地続きとなった授業を行なった。
（例：デジタル図鑑作成、オンライン職業体験、経営疑似体験など ）

効果

データ編集やチームで課題に取り組むことを通じて、社会で役立つスキルを身に付けることができた。
主体的に考える児童生徒が多くなった。

事例紹介③　キャリア教育　～秋田県　大館（おおだて）市～

「ふるさとキャリア教育」～教育による未来創成～

課題

主要産業の衰退や少子高齢化、人口減少などの社会的課題を抱えていたことから、地元に定着してもらえるような教育を行う必要性を感じていた。

取り組み

休耕地に栽培したヒマワリの種からヒマワリ油を搾油し、販売する活動や小中学生が自ら希望し、市内の職場やイベントなどで働く体験ができる子どもハローワークなどの取組を実施した。

効果

市内の高校生の地元就職率が80%まで上がり、自己肯定感や社会的貢献意識の水準も高まった。

グローバル教育・キャリア教育について

事例に共通する視点

視点①

地域との連携により、地域を学びの場として活用している。

視点②

地域について調べる・体験することにより郷土愛の醸成につなげている。

視点③

子どもたちが主体的に考え、自らの興味や関心を追求できるような仕掛けがある。

⇒地域主体、こども主体(こどもまんなか)という視点は、今後より重要性を増すと考える。

資料1－2

グローバル教育・キャリア教育に係る入間市の取組状況

学校教育課

グローバル教育について

「グローバル教育」とは

- 言語の習得だけでなく、自国や他国の伝統や文化についての理解を深め、世界規模でものごとを考える力や豊かなコミュニケーション能力を身につけるための教育

『入間市の教育』より

施策（２）学校教育内容の充実

【学校教育課】

学力向上の充実

○英語指導助手（ＡＥＴ）の小・中学校配置による
外国語教育の充実

豊かな心を育む教育の推進

○外国語活動・英語教育の充実や
英語指導助手（ＡＥＴ）とのふれあいを通しての
グローバルな視点と感覚の育成

グローバル教育について

○ＡＥＴの活用

○ＡＥＴの活用

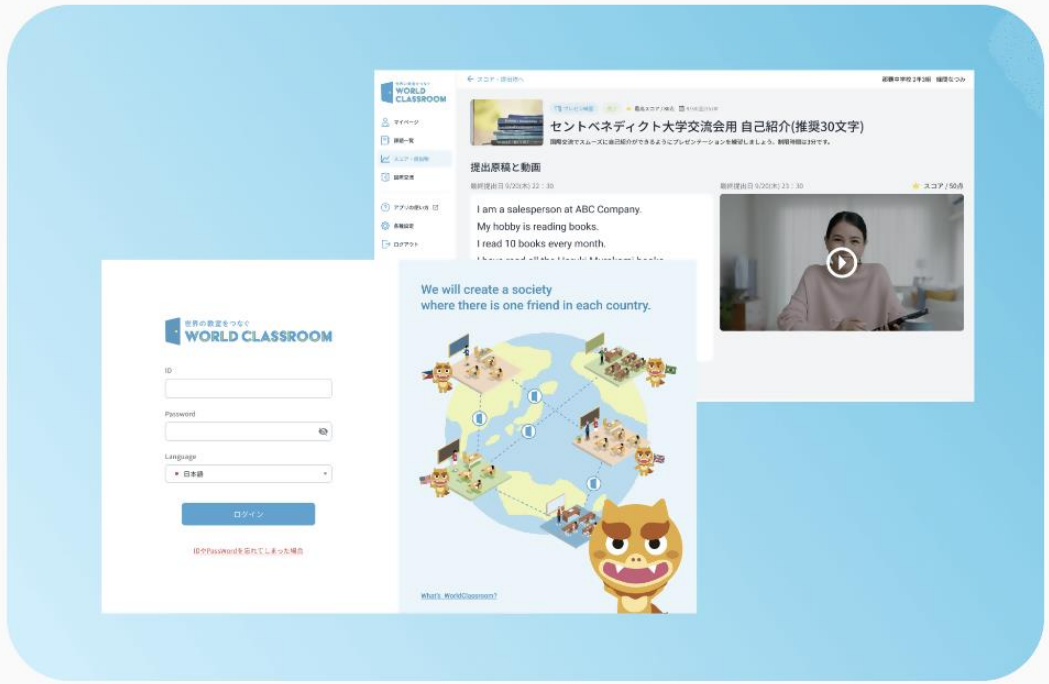
小学校	豊岡	黒須	扇	東金子	金子	宮寺	藤沢	藤沢南	狭山	西武	藤沢東	藤沢北	仏子	新久	東町	高倉
配置日数	2	3	4	2	2	2	3	3	2	4	3	4	2	2	3	2

中学校	豊岡	金子	武蔵	藤沢	西武	向原	黒須	東金子	上藤沢	東町	野田
配置日数	2	2	3	4	1	3	2	2	3	2	3

グローバル教育について

Hello World株式会社との連携事業

『WORLD CLASSROOM』



学校向け

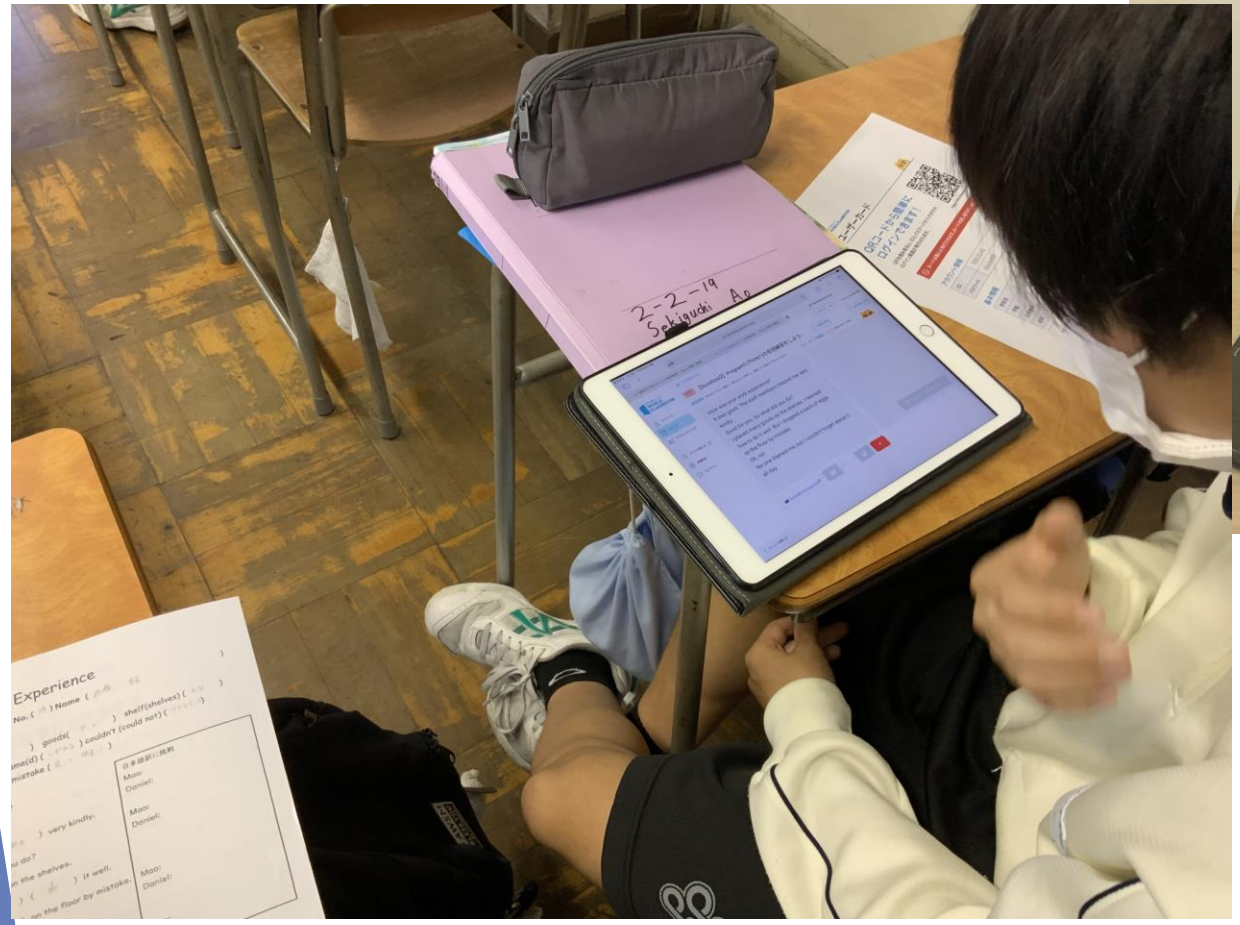
世界の教室をつなぐ
WORLD CLASSROOM

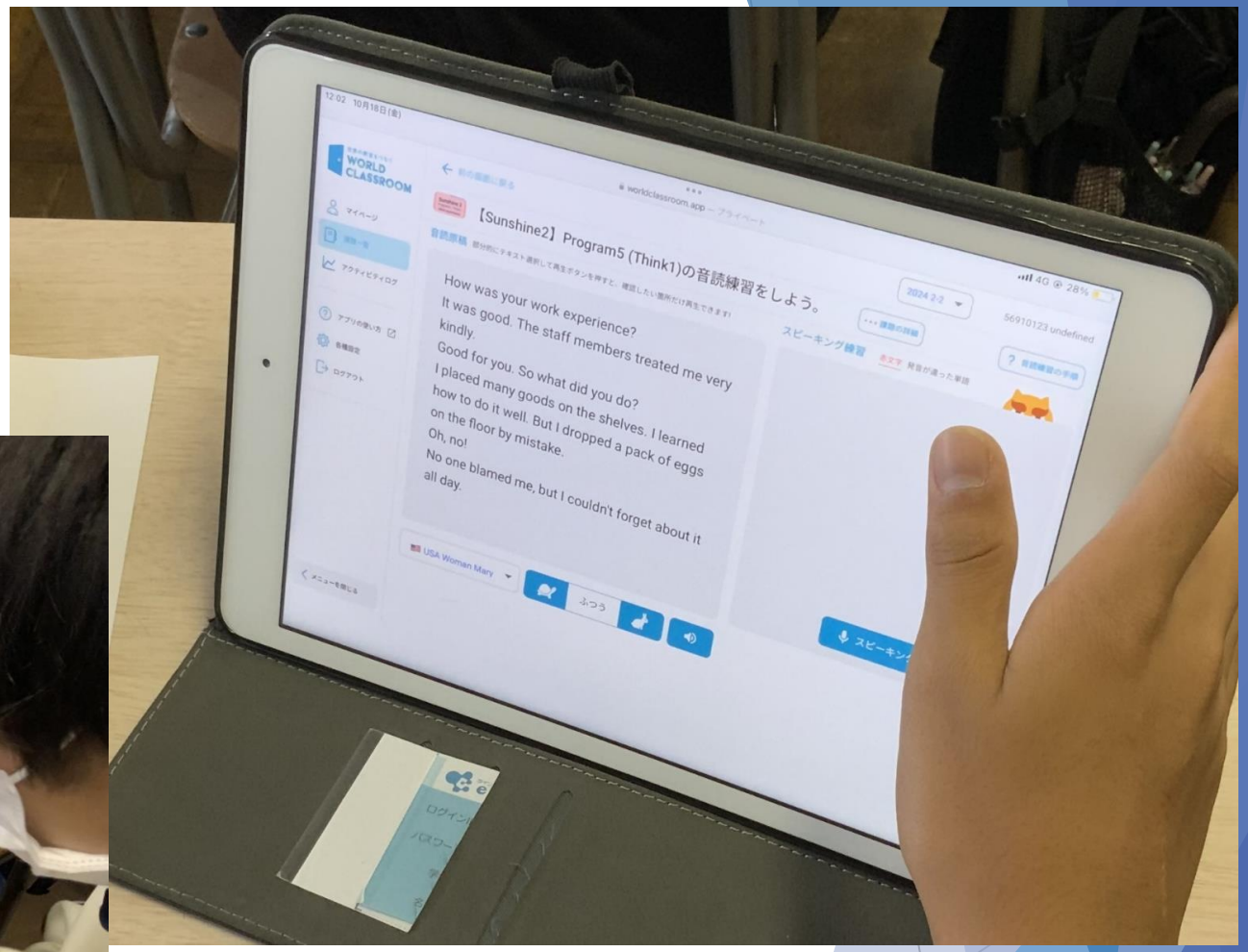
英語学習・国際交流プラットフォーム

ICTを活用し、スピーキング練習や海外との国際交流による実践的な英語学習をサポート。生徒の英語力向上に加え、自動化システムによる教員の負担軽減を実現します。

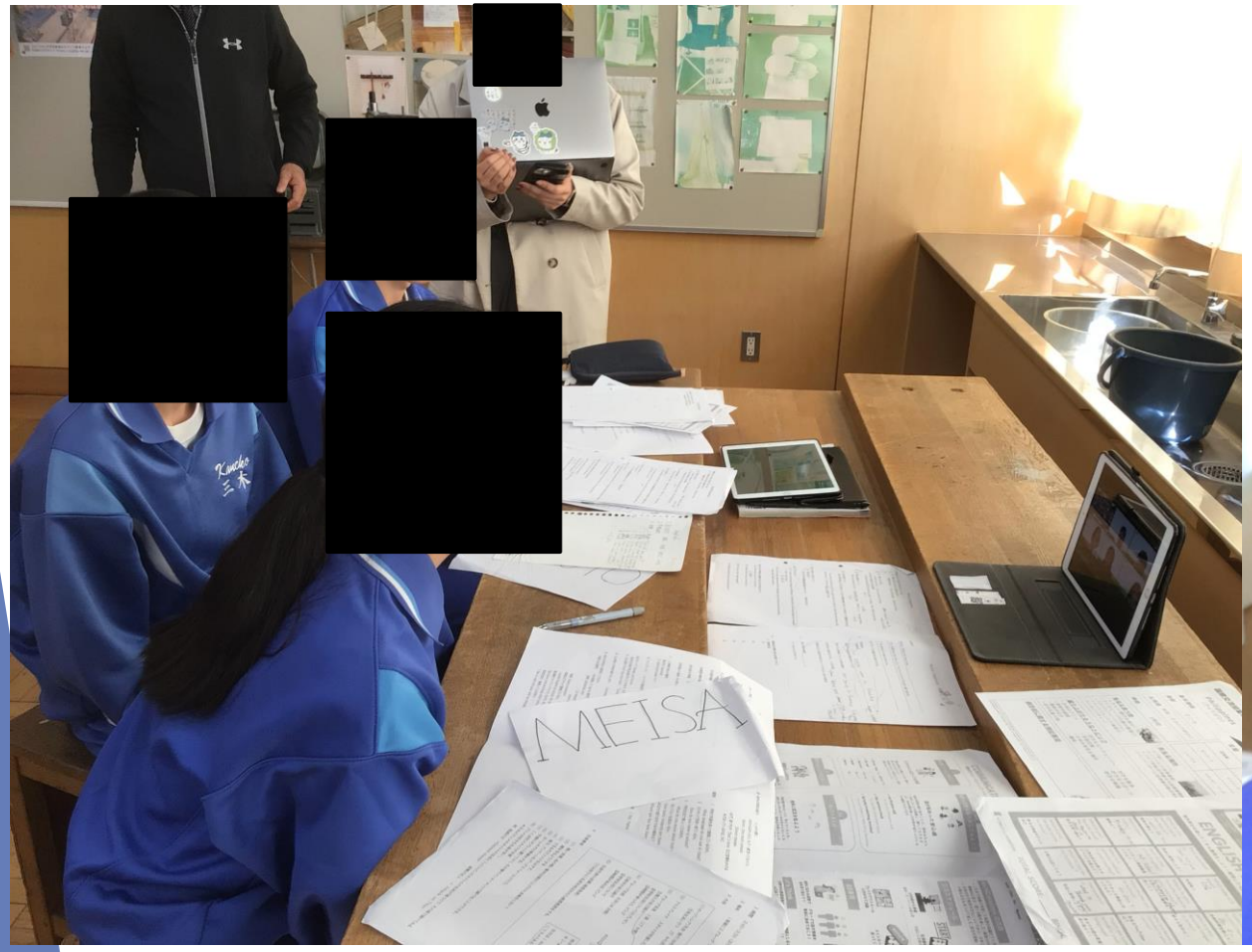
グローバル教育について

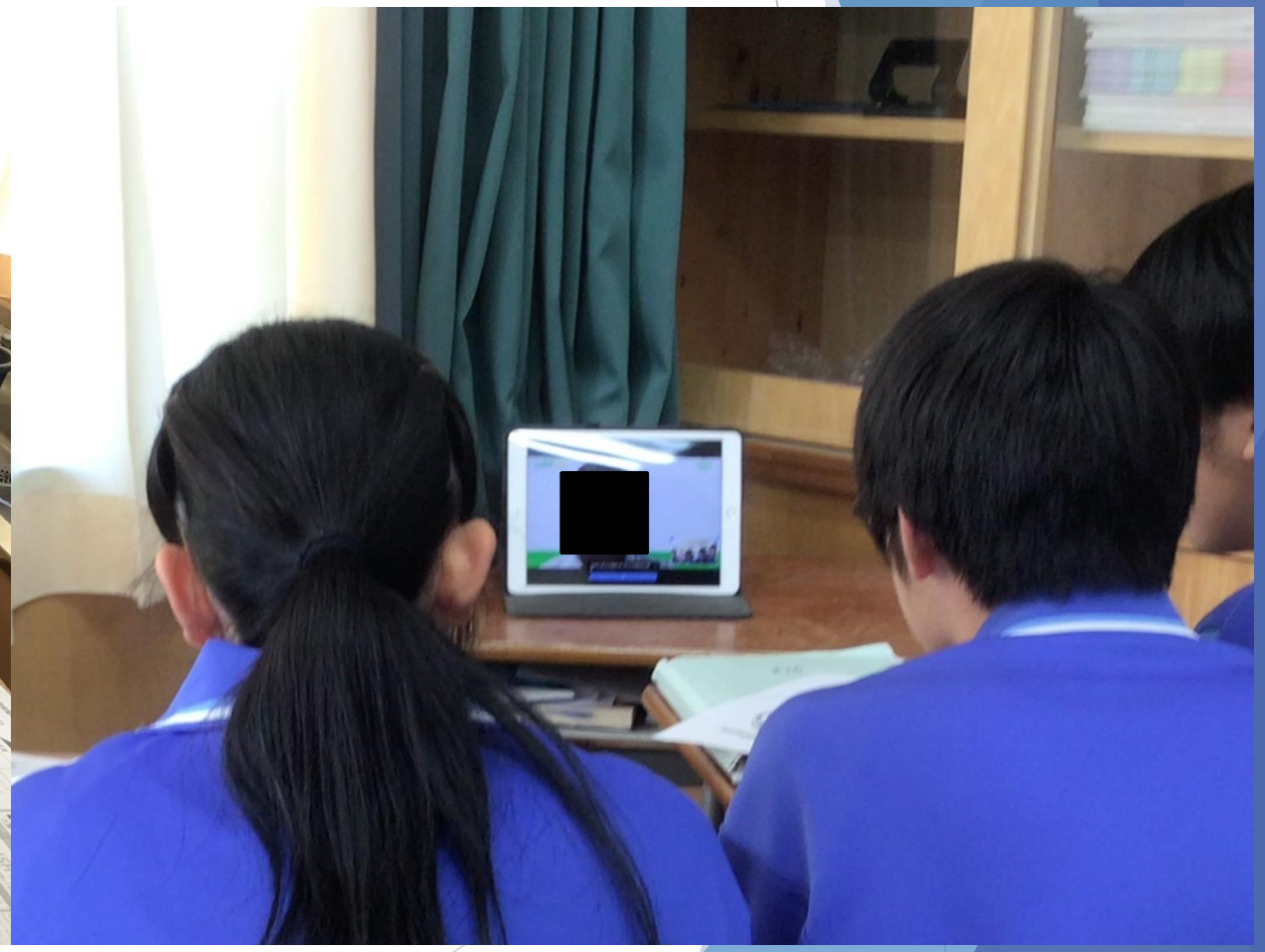
○スピーキングアプリの導入、活用





○海外との国際交流による実践的な英語学習





キャリア教育について

「キャリア教育」とは

- 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育（文部科学省）

「キャリア発達」とは

- 社会の中で自分の役割を果たしながら，自分らしい生き方を実現していく過程（文部科学省）

改めて「キャリア教育」とは

- 社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成を通して、
  自分らしい生き方の実現
  を促す教育

『入間市の教育』より

施策（１）学校教育体制及び学習環境の充実

【学校教育課】

学校経営の充実

○狭山茶とふれあう教育の推進

○学校・家庭・地域の連携・協働を通した学校づくりの推進

豊かな心を育む教育の推進

○体験活動、地域人材、地域教材を生かした学習指導の推進

○狭山茶とふれあう教育の推進

ア　小学校：茶摘み体験、手揉み茶体験

イ　中学校：茶道（盆点前）体験

○キャリアパスポート

・学習指導要領上に位置付けられている、小学校から高校までの学びや活動の記録をまとめたポートフォリオ（特別活動）

・目的は、児童生徒が自分の成長やキャリア形成を振り返り、将来の職業選択などに役立てること

キャリア教育について

○キャリアパスポート

６年生　１年間をふり返りましょう

名前

○この１年間でなりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう。

（学習面） **学習面**
（生活面） **生活面**
（家庭や地域） **家庭や地域**
（習い事・資格・好きなことなど） **習い事・資格・好きなこと**
最高学年としてがんばったことや学年のためにしたこと、成長したと思うこと **頑張ったこと**
１８さいのわたしへのメッセージ（今の自分が、将来の自分につながっています。今の思いを大人（18 才）になった自分に伝えましょう。） **１８さいの私へ**

キャリア教育について

○キャリアパスポート

この一年、どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	少しできた	あまりできなかった
①友達や家の人の話を聞くとき、その人の考えや気持ちを考えることができましたか。				あまりできなかった
②自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと気を付けることができましたか。	よくできた		少しできた	
③委員会、クラブ活動、係活動、当番活動などで、自分から仕事や活動内容を見つけ、力を合わせて行動することができましたか。		できた		
④好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。				
⑤調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりできましたか。				
⑥何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。				
⑦自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫できましたか。				

キャリア教育について

○盆手前

キャリア教育について

○茶席体験

キャリア教育について

○上級学校訪問

キャリア教育について

○高校出前授業

キャリア教育について

○職場体験
『３days』

キャリア教育について

○職場体験
『３days』

キャリア教育について

○職場体験
『３days』

キャリア教育について

○人事院研修受け入れ『キャリア学習会』

○人事院研修受け入れ
『キャリア学習会』

○上藤沢中学校区茶畑管理組織
『上中校区　茶MO（チャーモ）』

- 茶畑管理の課題→地主に返還？
- 「子どもたちが地域の産業に触れる機会を残せないか」
- 「清水園」様の協力
- 組織づくり

○上藤沢中学校区茶畑管理組織
『上中校区　茶MO（チャーモ）』

- ボランティア統括 [redacted] 様
- 清水園　清水　裕司　様
- 藤沢地区中央区長会
- 上藤沢中、藤沢南小、藤沢東小ＰＴＡ

○上藤沢中学校区茶畑管理組織
『上中校区　茶MO（チャーモ）』

- 下草刈り、草むしり、茶葉刈り
- 地域ボランティア、生徒、保護者の協働
- 小学生も茶摘みで参加
- 製茶は清水園様
- 本取組を通した地域を支える人材育成

資料2

「入間市こども計画」の概要

（2025.3.26　総合教育会議資料）

こ　ど　も　支　援　部

「入間市こども計画」

【計画期間】　令和７年４月１日 ～ 令和１２年３月３１日

【基本理念】　全てのこどもが健やかに心豊かに育ち、
全ての家庭が安心して子育てができるまち いるま

【内包する計画】　子ども・子育て支援事業計画 ／ 次世代育成支援行動計画
子ども・若者育成支援計画 ／ こどもの貧困の解消に向けた対策計画
母子父子自立促進計画 ／ 母子保健を含む成育医療等に関する計画

【計画策定の背景】

国は、こども政策を真ん中に据え、強力に進めるために令和5年に「こども基本法」を施行し、「こども大綱」を閣議決定。地方自治体に「子ども」だけでなく、妊娠期から若者（年齢規定なし）までを切れ目なく包括的に支援する「こども計画」を策定するよう求めている。

入間市では、現行計画である「入間市子ども・若者未来応援プラン」において、既に「若者」を含む世代まで切れ目なく包括的に支援する方針を定めていたため、「入間市こども計画」は、「入間市子ども・若者未来応援プラン」の後継計画の位置づけで策定している。

入間市子ども・若者未来応援プラン

計画期間　令和2年度～6年度

基本理念　すべての家庭が安心して子育てができ、
すべての子ども・若者が健やかに心豊かに育つまち　いるま

基本理念のもと、下記の６つの基本目標で構成しています。

基本目標１　子どもの権利を守るために
施策の方向性
・子どもの権利の周知と理解
・児童虐待防止対策の充実
・障害児施策の充実
・多様性を認める環境整備

基本目標２　幼児教育・保育を充実させるために
施策の方向性
・幼児教育・保育施設の充実
・幼児教育・保育環境の整備

基本目標３　地域で子育ち・子育てを支援するために
施策の方向性
・多様な子育て支援の充実
・放課後の居場所や活動の場づくりの推進
・仕事と家庭の両立支援の推進
・地域ぐるみの支援

基本目標４　若者が自分らしく自立し躍動できるために
施策の方向性
・若者自身の力を伸ばし、自信と希望をもって社会を生き抜く力を育てるための取組
・困難な状況に応じた支援
・次世代の育成
・健やかな成長を支える環境の整備

基本目標５　生まれ育った環境に左右されないために
施策の方向性
・子どもの貧困問題への対策
・ひとり親家庭への支援の充実

基本目標６　親子の健康を増進するために
施策の方向性
・妊娠期からの切れ目ない支援
・保健対策の充実
・小児医療の充実・予防接種の実施

入間市こども計画

計画期間　令和7年度～11年度

基本理念　全てのこどもが健やかに心豊かに育ち、
全ての家庭が安心して子育てができるまち　いるま

市民にとって分かりやすい計画にするために、
ライフステージごとに施策を分ける等、こども大綱を参考に
３つのこども施策に関する重要事項で構成しています。

こども施策に関する重要事項

1　こどものライフステージに応じた支援
施策の方向性
妊娠期・出産期～乳幼児期
・妊娠期からの切れ目ない支援
・発育・発達等の早期発見・早期支援
乳幼児期～学童期
・幼児教育・保育の環境の整備
・幼児教育・保育の質の向上
学童期～思春期
・こどもの居場所づくりの推進
・困難な状況に応じた支援、配慮が必要なこどもへの支援
思春期～青年期
・社会的自立・自己形成に向けた支援
・健やかな成長のための支援体制

2　子育て家庭への支援
施策の方向性
・地域における子育て支援、仕事と子育ての両立の推進
・子育てや教育に関する経済的負担の軽減

3　ライフステージを通して行う支援
施策の方向性
・こどもの権利の周知・啓発
・児童虐待防止対策
・インクルージョンの推進
・こどもの貧困対策・ひとり親家庭等への支援
・切れ目ない保健・医療の提供

こどものライフステージに応じた支援

（１）妊娠期からの切れ目ない支援　【妊娠期・出産期～乳幼児期】

妊産婦の心身のケアや子育てのサポートを行う産前・産後ケア事業などを通じて、安心して妊娠・出産・子育てができるように、妊娠中から出産後まで切れ目なく家庭やこどもを支えていきます。

（２）発育・発達等の早期発見・早期支援　【妊娠期・出産期～乳幼児期】

全てのこどもや子育て家庭が暮らしやすい社会が求められています。こどもの心身の発達のために、早期に日常生活の場や専門的な機関での適切な支援につながるよう環境を整えます。

（３）幼児教育・保育の環境の整備　【乳幼児期～学童期】

仕事と子育てを両立するために、早くから保育所などに、こどもを預けたい人が増えている中で、希望者が保育所や幼稚園などに入れるように環境を整えます。

（４）幼児教育・保育の質の向上　【乳幼児期～学童期】

保育所や幼稚園などに、小学校も協力して、こどもの心身の育ちをより良く支えるための工夫を行います。

こどものライフステージに応じた支援

（５）こどもの居場所づくりの推進　【学童期～思春期】

様々な体験や交流などを通じて、社会の中で生活するために必要な力を身につけられるように、学童保育室や放課後子ども教室などに取り組みます。また、こどもが地域の人たちと交流しながら、様々な文化に触れる機会を持てるように取り組みます。

（６）困難な状況に応じた支援、配慮が必要なこどもへの支援　【学童期～思春期】

関係機関などと協力して、ヤングケアラーや不登校などの悩みを抱えるこどもを支えます。また、家庭の事情によって、生活や学びに困ることがないように必要なサポートにつなぎます。

（７）社会的自立・自己形成に向けた支援　【思春期～青年期】

こども・若者が社会に出る時のために、自分自身のことや社会のことの理解を深めて、自分の大切なことや、やってみたいことを理解する手助けをします。

（８）健やかな成長のための支援体制　【思春期～青年期】

悩みを抱えるこども・若者を支えるために、関係機関などと協力して、相談やサポートをできる体制を整えます。また、こども・若者が安全・安心な環境で成長できるような地域づくりをします。

こどものライフステージに応じた支援

◎こどもの居場所づくり・遊び場づくり

・令和５年12月　国「こどもの居場所づくりに関する指針」発出
・市内では以前から、市民の皆さんの活動等によりたくさんの「居場所」がつくられ、地域におけるネットワークづくりが進んでいる。
・行政としても、公園などの「場」の整備や、青少年活動センターや児童センター、各地区センター等において、施設開放や体験事業等を実施。

市ではこれからも、こどもの居場所づくり・遊び場づくりに取り組む皆さんの自主性を尊重しながら、連携して、こどもたちに寄り添った支援を展開する。

◎ヤングケアラー支援

・令和４年「入間市ヤングケアラー支援条例」を全国に先駆け制定し、支援を実施。
・令和６年６月　国も法改正によりヤングケアラーを各種支援に努めるべき対象とした。

市では、ヤングケアラーが個人として尊重され、心身の健やかな成長と自立が図られるよう、市の責務等を明らかにし、支援施策を総合的・計画的に推進する。

子育て家庭への支援

（９）地域における子育て支援、仕事と子育ての両立の推進

子育てしやすい地域になるために、子育て支援施設などと協力して、子育て支援センターやファミリー・サポート・センター事業などに取り組みます。また、一時預かり事業などを通じて、仕事と子育てを両立しやすいようにします。

（10）子育てや教育に関する経済的負担の軽減

保育所や病院などを使うためのお金をサポートすることで、子育てに関するお金の負担を軽くして、子育てをしやすいようにします。

ライフステージを通して行う支援

（11）こどもの権利の周知・啓発

大人だけでなく、こどもも権利を持っていることを社会全体で知ることで、こどもが自分らしく生活できる地域にします。

（12）児童虐待防止対策

こどもの虐待が起こらないように、早期に子育てに悩んでいる家庭のサポートをします。また、こどもの虐待を前もって防ぐためにも、社会全体でこどもの虐待に関する理解を深めます。

（13）インクルージョンの推進

障がいのあるこどもや、外国人のこどもなど、様々なこどもや家庭が暮らしやすい地域を作ります。

（14）こどもの貧困対策、ひとり親家庭等への支援

貧困などの状況にいる、こどもが勉強や生活などのことで困らないように、進学などのサポートや、親の就労のサポートをします。

（15）切れ目ない保健・医療の提供

妊産婦や、こども、その家族が健康でいられるように、それぞれの状況に合わせて、必要なサポートをします。

ライフステージを通して行う支援

◎こどもの意見表明権・意見聴取

・こどもの権利条約、こども基本法による「こどもの意見表明権」の明確化
・こども施策の当事者（こどもたち）から意見を聴くことで、施策の実効性が高まる
・将来の社会参画へと繋がる等、こどもにとっても社会にとっても大きな意義

入間市こども計画策定の過程では、さまざまな手法で意見聴取を実践した。
市では、これからも、こどもとともにまちづくりを進められるよう、こどもの意見形成や意見表明に関する効果的な取組について、実践しながら検討を進める。

◎こども家庭センター

・「こども家庭センター」は、全ての妊産婦、子育て家庭が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、また、全てのこどもが健やかに成長できるよう、包括的な相談支援を行い、切れ目なく漏れなく支援することを目的に令和６年４月に設置
・母子保健と児童福祉の連携により、それぞれの専門性を活かしながら一体的に支援
・こどもや家庭の意向を確認しながら、必要に応じてサポートプラン作成等を実施

市では、関係機関等と緊密に連携し、支援内容やサービスの調整を行うとともに、多様な家庭環境等に対する支援体制の充実・強化を図る。

計　画　の　進　行　管　理

計画の実施にあたっては、主に下表のような指標を設定しており、「こども・子育て審議会」や庁内組織において点検・評価を行いながら、基本理念の実現に向けて、着実に各事業を実施していきます。

指　標	現在の割合 （令和5年度）	目指す割合 （令和11年度）
生活に満足していると思うこどもの割合	71.2%	71.2%
今の自分が好きであると思うこどもの割合	63.8%	70.0%
生活に満足していると思う保護者の割合	61.7%	70.0%

資料3

水泳授業における民間活力の活用について

学校教育課

教師の問題意識

- よりよい水泳授業の追求
- 教師の専門性の向上
- 民間スイミングスクールとの連携

学校プールを取り巻く課題

- 使用が天気に左右される
- 熱中症（暑すぎて入れない）
- プライバシーの問題
- プール掃除、水質・衛生管理

- 民間のスイミングスクールを活用したモデル事業の実施へ！

委託先

- コナミスポーツクラブ入間（Ｒ５～Ｒ６）
- ティップネス武蔵藤沢（Ｒ５）

実施方法

- 事業者の休館日（週１日）に実施
- R6年度は５月から１２月にかけて
- １学年あたり４コマ実施
- １コマは２単位時間（１・２校時、３・４校時、５・６校時）

実施方法

- 実施場所：事業者のプール
- 移動方法：バスによる送迎

※豊岡小は、近隣のコナミスポーツクラブで実施したため、徒歩で移動した。

授業の様子

授業の様子

実施方法

- 指導内容：学校の年間指導計画に沿った指導

※実技指導は、事業者のスタッフが担当

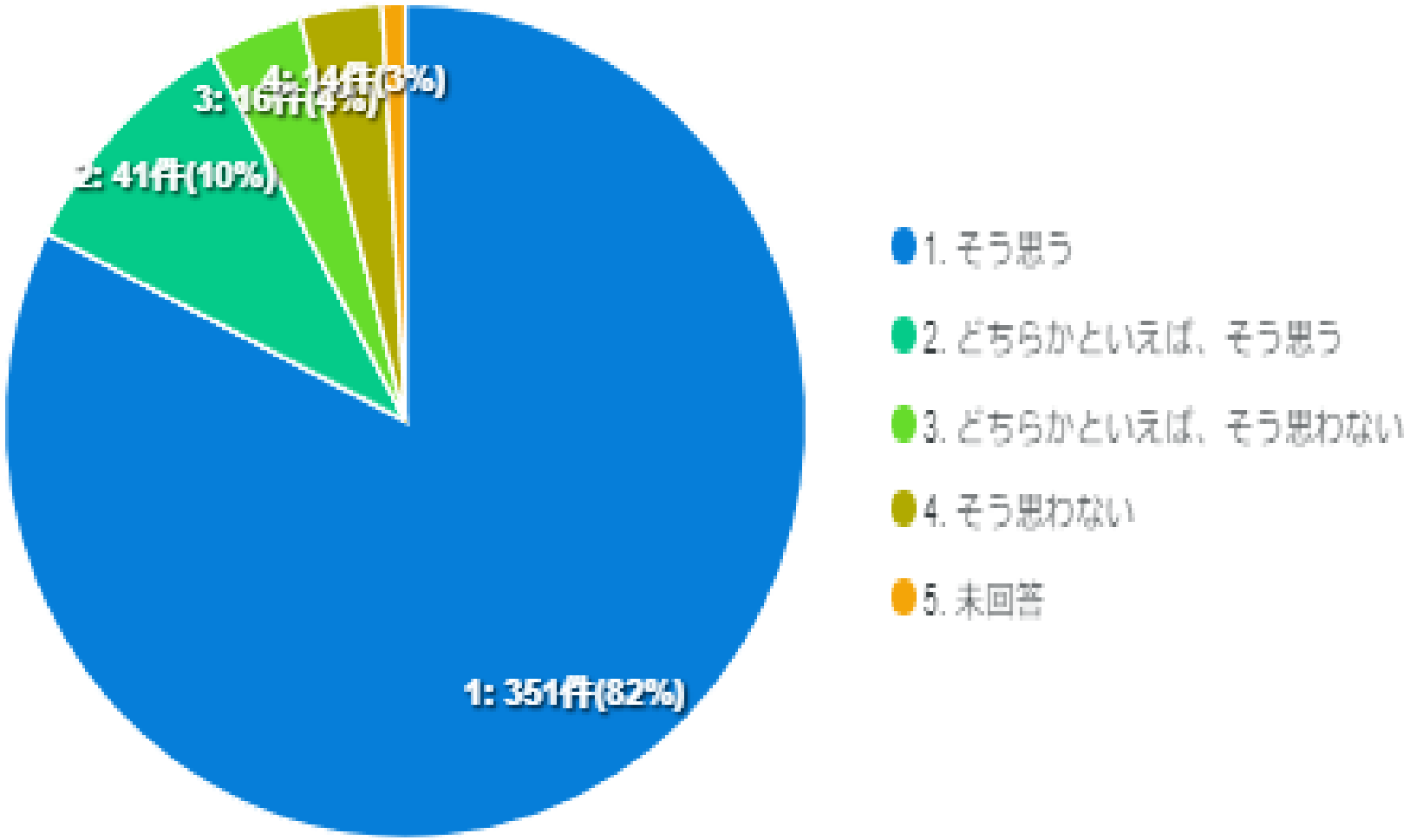
- 実施態様：指導員１名あたりの児童数は１５～２０名程度
- 監視員２名

実施方法

- 評価は教員が主で行う。
- 事業者による事業報告には、児童一人一人の泳力の変化の記録が記載されている。

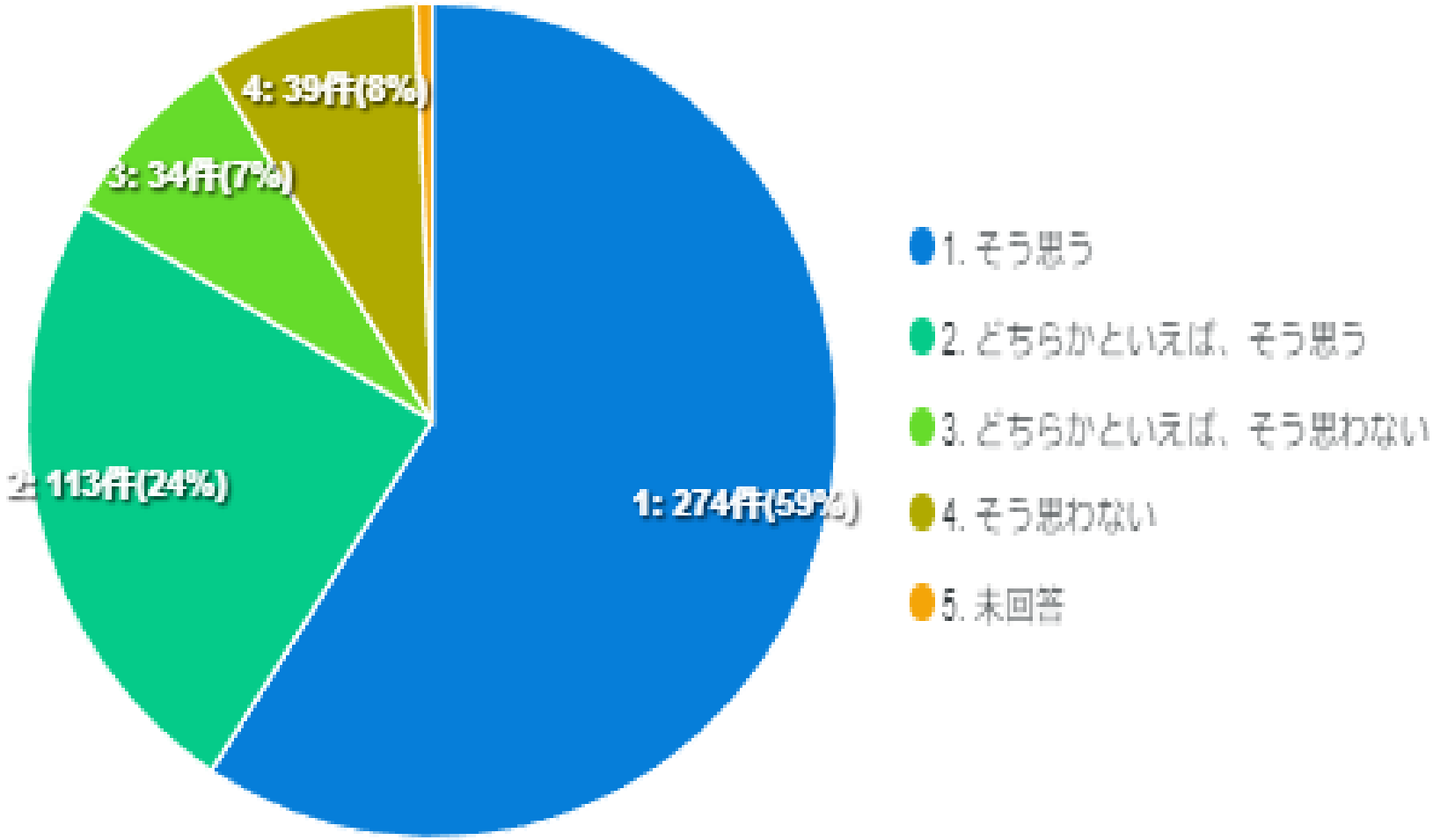
１～３年生
児童
アンケートから

来年も、スイミングスクールで授業を受けたいですか？



４～６年生
児童
アンケートから

来年も、スイミングスクールで授業を受けたいですか？



教員アンケートから

- 児童一人ひとりがそれぞれ上達したことに驚いた。
- みんながとても楽しそうに水泳学習に取り組んでいた。
- コーチ一人一人の丁寧な声掛けが勉強になった。
- グループで、それぞれの能力に合わせて指導してくれるのが良い。
- 快適な環境で活動できた。
- インストラクターはとても丁寧な対応をしてくれる。評価もしやすい。

保護者アンケートから

- 「水嫌い」だった子供が、家に帰ってくるなり、「プール楽しかった！」と笑顔で話をしてくれた。
- コーチから教わったことを、身振り手振りを交えて、一生懸命説明してくれた。
- 監視員も常駐していて、安心して見ることができました。来年度も続けてほしい。
- 学校にはない補助具も着けていただき、恐怖心なく、楽しく参加できた。
- たった４回の授業でしたが、子供の泳力が、グングン伸びたようだ。

今後の方向性

- 小規模な修繕で対応できる学校では施設を維持し使用していく。
- モデル事業の拡大
- 市営の温水プールを建設？
- 小学校のみプール整備？
- 座学への移行？